

野洲市資料提供

提供年月日	令和8年1月21日
担当部課	健康福祉部 健康推進課
担当者	本間・新田
連絡先電話番号	077-588-1788

令和8年度小児におけるRSウイルス感染症ワクチン接種の定期接種化について

令和7年11月26日に厚生労働省主催で開催された予防接種に関する自治体向け説明会において、令和8年4月1日からRSウイルス感染症に対するワクチン接種を、予防接種法における「A類疾病の定期接種」として実施する方向性が示されました。

これに伴い、定期接種の開始準備等について報告します。

記

1. 定期接種化の概要

(1) 定期接種開始日 令和8年4月1日から開始予定

(2) 対象者

妊娠28週から37週に至るまでの妊婦（妊娠毎に1回接種） 年400人（想定）

(3) ワクチンの種類

組換えRSウイルスワクチン（母子免疫ワクチン） 製品名「アブリスボ」

(4) 接種費用

無料（全額公費負担、1回接種当たり約29,766円）

(5) 定期接種の周知方法

①対象者への案内（令和8年2月から）

- ・市内産婦人科への周知
- ・対象妊婦への個別通知 140人（想定）
- ・母子健康手帳交付時に周知案内を配布

②広報やすへの掲載（令和8年3月以降）

③市ホームページへの掲載（令和8年2月以降）

2. 事業費（概算）

令和8年度 11,421,080円（事業費：事務費、委託料等）

（内訳） 110,000円（事務費：印刷製本費等）

11,311,080円（委託料：対象者400人×接種率95%×単価29,766円）

※令和8年度当初予算で対応

接種費用の約9割は地方交付税措置

3. RSウイルス感染症と定期接種化の背景について

RSウイルス感染症は細気管支炎や肺炎などを引き起こす感染症で、2歳までにほとんどの子どもがかかります。生後6か月未満、特に生後1~2か月の乳児は入院するリスクが高いため、乳児期早期の予防が重要です。

妊娠中にワクチンを接種すると、母親が作った抗体がおなかの赤ちゃんに移行し、出生直後から予防効果が期待できることから、定期接種化が示されました。